

審 査 メ モ (その3)

1 農業経営統計調査の変更

(3) 報告を求める事項の変更

ウ 生産費調査票関係

(カ) 対象品目の生産のために使用した資材等を把握する調査事項【全ての生産費調査票（農畜産物の種類に応じた調査事項を設定）】

農畜産物を生産する農業経営体（個別経営体及び組織法人経営体）における農畜産物の生産のために使用した資材等の状況を明らかにするため、①種苗の使用数量・購入金額、②肥料の使用数量・購入金額、③飼料の使用数量・購入金額、④農業薬剤の購入金額、⑤種付料等、⑥敷料の購入金額等、⑦光熱動力の購入金額・使用数量、⑧獣医師料及び医薬品費、⑨草地費、⑩賃借料及び料金、⑪その他資材の使用量・金額等を把握する調査事項を再編する。

【米生産費調査（個別経営体用）の場合】

1 種苗費

当年産の食用米生産のために使用した種子及び苗について記入してください。
なお、内訳欄を記入する場合、「計」欄の記入は不要です。

・食用米のみの使用分を記入する場合は、100（％）としてください。
・食用米以外の使用分を含めて記入する場合には、作付面積の割合を目安に記入してください。

(1) 種子

品 種 名 等	数 量 (kg)	金 額 (円)	食用米 負担割合 (%)
(計)	万 千 百 十	万 千 百 十	
購 入			
自 給			

浸種の場合の減耗分や不発芽による二度まき分についても含めて記入してください。

使用した自給の種子の品種名と数量を記入してください。

・食用米のみの使用分を記入する場合は、100（％）としてください。
・食用米以外の使用分を含めて記入する場合には、作付面積の割合を目安に記入してください。

(2) 苗

品 種 名 等	植え付けた面積 (a)	金 額 (円)	食用米 負担割合 (%)
(計)	ha a	万 千 百 十	
購 入			

【3】食用米の生産のために使用した資材等（続き）

2 肥料費

当年産の食用米生産のために使用した肥料について記入してください。
なお、内訳欄を記入する場合、「計」欄の記入は不要です。

- ・食用米のみの使用分を記入する場合は、100（%）としてください。
- ・食用米以外の使用分を含めて記入する場合には、作付面積の割合を目安に記入してください。

資 材 名 等		数 量 (kg)	金 額 (円)	食用米 負担割合 (%)	備 考 欄
購 入	窒 素 質 肥 料 (計)	万 千 百 十	万 千 百 十		
	りん 酸 質 肥 料 (計)	万 千 百 十	万 千 百 十		
	カ リ 質 肥 料 (計)	万 千 百 十	万 千 百 十		
	け い 酸 質 肥 料 (計)	万 千 百 十	万 千 百 十		
	炭 酸 カ ル シ ウ ム (計) (石 灰 含 む 。)	万 千 百 十	万 千 百 十		※融雪剤として使用した分は「5諸材料費」に記入してください。
	複 合 肥 料 (計)	万 千 百 十	万 千 百 十		
	土 壌 改 良 資 材		万 千 百 十		
	た い 肥 ・ き ゅ う 肥				
	そ の 他 (計)				微生物資材、液肥、農薬入り肥料、ペースト肥料、苦土質肥料、微量元素肥料、有機質肥料など

2 肥料費（続き）

当年産の食用米生産のために使用した肥料のうち、自家で生産した肥料について記入してください。

資 材 名 等		数 量 (kg)				食用米 負担割合 (%)
自 給	た い 肥	万	千	百	十	
	き ゆ う 肥					
	稲 ・ 麦 わ ら					
	そ の 他					

注：稲・麦わらは、前作の収穫後には場に放置し、そのまま
すき込んだ分を除いて記入してください。

- ・食用米のみの使用分を記入する場合は、100（%）としてください。
- ・食用米以外の使用分を含めて記入する場合には、作付面積の割合を目安に記入してください。

3 農業薬剤費

当年産の食用米生産のために使用した農業薬剤について記入してください。

なお、内訳欄を記入する場合、「計」欄の記入は不要です。

資 材 名 等		金 額 (円)				食用米 負担割合 (%)	備 考 欄
殺 虫 剤 (計)			万	千	百	十	
殺 菌 剤 (計)			万	千	百	十	
殺 虫 殺 菌 剤 (計)			万	千	百	十	
除 草 剤 (計)			万	千	百	十	
そ の 他 (計)			万	千	百	十	
							殺鼠剤、植物成長調整剤、展着剤、生産に使用する農具及び資材（育苗箱など）の殺菌・消毒剤など

注1：共同負担金(薬剤散布)及び航空防除賃は、農薬代も含め「6 賃借料及び料金」の該当費目に記入してください。

注2：除草剤等農薬入りの肥料は「2 肥料費」の「その他」に記入してください。

- ・食用米のみの使用分を記入する場合は、100（％）としてください。
- ・食用米以外の使用分を含めて記入する場合には、機械等の使用時間や作付面積の割合を目安に記入してください。

4 光熱動力費

当年産の食用米生産のために使用した光熱動力について記入してください。

資 材 名 等		数 量	単 位	金 額（円）	食用米 負担割合 （％）
動 力 燃 料	重 油	万 千 百 十	L	万 千 百 十	
	軽 油		L		
	灯 油		L		
	ガ ソ リ ン		L		
	潤 滑 油		L		
	混 合 油		L		
電 力 料			-		
そ の 他 （水道料、木炭などの燃料）			-		
自 給		万 千 百 十			

使用した自給の
資材名と数量を記
入してください。

- ・食用米のみの使用分を記入する場合は100（％）としてください。
- ・食用米以外の使用分を含めて記入する場合には、作付面積の割合を目安に記入してください。

5 諸材料費

当年産の食用米生産のために使用した諸材料について記入してください。

「購入・その他」については、内訳欄を記入する場合、「計」欄の記入は不要です。

資 材 名 等		数 量	単 位	金 額（円）	食用米 負担割合 （％）
購 入	育苗用土（素土含む。）	万 千 百 十	kg	万 千 百 十	
	そ の 他 （ 計 ）				
自 給		万 千 百 十			

使用した自給の
資材名と数量を記
入してください。

諸材料には、育苗箱マット、あぜ波板、ビニール・シート（償却資産に属する建物（育苗ハウス等）のビニール張り替え費用については、建物費の修繕費に計上）、なわ、バインダー用結束ひも等が入ります。

- ・食用米のみの支払分を記入する場合は、100（％）としてください。
- ・食用米以外の支払分を含めて記入する場合には、機械等の使用時間や作付面積の割合を目安に記入してください。

6 賃借料及び料金

当年産の食用米生産のために支払った賃借料や料金について記入してください。
なお、内訳欄を記入する場合、「計」欄の記入は不要です。

料 金 名 等		数 量	単 位	金 額 (円)	食用米 負担割合 (%)
共同 負担 金	薬 剤 散 布		—		
	共 同 施 設		—		
	共 同 苗 代		—		
農 機 具 借 料			—		
航 空 防 除 賃		ha	a		
賃 耕 料			a		
は 種 ・ 田 植 賃			a		
収 穫 請 負 わ せ 賃			a		
も み す り ・ 脱 穀 賃		kg			
ラ イ ス セ ン タ ー 費		kg			
カ ン ト リ ー エ レ ベ ー タ ー 費		kg			
そ の 他	(計)		—		
			—		
			—		
			—		
			—		

注1： 共同負担金（薬剤散布）及び航空防除賃は、農薬代も含めて記入してください。

2： ライスセンター、カントリーエレベーター等に委託しており、その委託料金に包装荷造り費が含まれる場合、包装荷造り費を除いて記入してください。

【牛乳生産費調査の場合】

【3】調査対象畜の生産に使用した資材等

1 購入飼料

1年間に調査対象畜に給与した購入飼料について、給与数量及び購入金額を記入してください。
(自給飼料は、8ページに記入してください。)

- ・「数量」、「金額」に調査対象畜への給与分のみを記入する場合には「100」としてください。
- ・調査対象畜以外への給与分を含めて記入する場合には、次のとおり牛の飼養頭数割合を目安に調査対象畜の負担割合を記入してください。

$$\text{調査対象畜負担割合} = \frac{\text{調査対象畜の飼養頭数}}{\text{全体の飼養頭数}} \times 100$$

区 分		数 量	単位	金 額 (円)	調査対象畜負担割合
		万 千 百 十		万 千 百 十	%
穀 類	大 麦				
	そ の 他 の 麦				
	とうもろこし				
	大 豆				
	飼 料 用 米				
	そ の 他 の 穀 類				
ぬ か ・ 米 ・ 麦 類	ふ す ま				
	米 ・ 麦 ぬ か				
	そ の 他 の ぬ か ・ 米 ・ 麦 類				
植 物 性 飼 料	大 豆 油 か す				
	ビ ー ト パ ル プ				
	そ の 他 の 植 物 性 飼 料				
配 合 飼 料					
T M R (粗飼料、濃厚飼料、ミネラル等の混合飼料)					
牛 乳 脱 脂 乳					
い も 類 及 び 野 菜 類					
わ ら 類	稲 わ ら				
	その他のわら類 (麦わら等)				
生 牧 草					
乾 牧 草	ヘイキューブ				
	その他の乾牧草				
サイレージ	い ね 科 (稲発酵粗飼料を除く。)				
	稲 発 酵 粗 飼 料				
	そ の 他 の サ イ レ ー ジ				
上 記 以 外 の 購 入 飼 料					

【3】調査対象畜の生産に使用した資材等（続き）

2 自給飼料

(1) 家畜に給与する目的で栽培した作物

家畜に給与する目的で栽培し、1年間に調査対象畜に給与した自給飼料について、給与数量を給与形態別（生牧草、乾牧草、サイレージ）に記入してください。また、自給飼料の生産状況には、作付面積、収穫量及び給与割合を記入してください。

【調査対象畜負担割合について】

- ・「数量」に調査対象畜への給与分のみを記入する場合には「100」としてください。
 - ・調査対象畜以外への給与分を含めて記入する場合には、次のとおり年の飼養頭数を日割に調査対象畜の負担割合を記入してください。
- 調査対象畜負担割合 = 調査対象畜の飼養頭数 ÷ 全体の飼養頭数 × 100

収穫量は、収穫時の重量（乾燥等の調整をする前の生重量）です。

区分	自給飼料の例示	生牧草 (生の状態で給与するもの)		乾牧草 (乾燥させて給与するもの)		サイレージ (発酵させて給与するもの)		左記の牧草の生産状況			
		数量	単位	数量	単位	数量	単位	作付面積	収穫量	給与割合	単位
いね科	デントコーン										
	イタリアンライグラス										
	ソルゴー										
	稲穀類粗飼料	WCS: ホールクロップサイレージ									
まぜいね科	その他	オーチャードグラス、チモシー、ライム、えん麦等のいね科の牧草									
	まぜいね科が主	オースティン、オースティン等のいね科の牧草									
まぜいね科	その他	アルファルファ等の主の科の牧草									
	その他の牧草	アルファルファ、クローバー等の主の科の牧草、飼料かん、家庭ゼート等									
穀類	穀類	とうもろこし、小麦、大豆、飼料用米等の穀類									
	いも類及び野菜	かんしょ、いもづる等									
野生草	野生草	採草場等の土地以外の土地から収穫し、生のまま給与するもの									
	野乾草	採草場等の土地以外の土地から収穫し、乾燥させて給与するもの									
放牧時間（放牧場）		放牧場における放牧時間		時間							

(2) 家畜に給与する目的以外で栽培した作物

食用等の家畜に給与する目的以外で栽培し、1年間にたまたま調査対象畜に給与した作物について、給与数量を記入してください。

「家畜に給与する目的以外で栽培した作物」の給与例

- ・販売目的で栽培した小豆をたまたま調査対象畜に給与
- ・食用目的で栽培したきつまいもをたまたま調査対象畜に給与 など

作物名 (具体的に記入)	数量	単位	調査対象畜負担割合

生産した牧草のうち、調査対象畜に給与した牧草の割合を記入してください。



- ・自給飼料の全量を調査対象畜に給与した場合には「100」としてください。
- ・調査対象畜以外にも給与した場合には、年の飼養頭数を日割に調査対象畜への給与割合を記入してください。
- ・調査対象畜に給与するほか、販売（又は消費）した場合に、全量のうち調査対象畜への給与分の割合を記入してください。

【3】調査対象畜の生産に使用した資材等（続き）

3 種付料

(1) 種付けに支払った料金を記入してください。（精液代、種付料等）

黒毛和種の種付け（F1）や黒毛和種の受精卵移植（ET）を含みます。

種付料金 (円)		万	千	百	十	
-------------	-------	---	---	---	---	-------

(2) 自家で飼育する種雄牛による延べ種付回数を記入してください。

延べ種付回数 (回)		万	千	百	十	
---------------	-------	---	---	---	---	-------

4 敷料費

(1) 購入

1年間に使用した購入敷料の金額を記入してください。
 なお、内訳欄を記入する場合、「計」欄の記入は不要です。
 また、敷料を物々交換により入手した場合は、交換した品目名と数量を記入してください。

区 分	金 額 (円)	調査対象畜 負担割合
計	万 千 百 十	%
稲 わ ら		
お が く ず		
麦 わ ら		
乾 牧 草		
そ の 他		

物々交換した場合		
品目名 (具体的に記入)	数量	単位
	万 千 百 十	

・「金額」に調査対象畜への使用分のみを記入する場合には「100」としてください。
 ・調査対象畜以外への使用分を含めて記入する場合には、牛の飼養頭数割合を目安に調査対象畜の負担割合を記入してください。

(2) 自給

1年間に使用した自給敷料の数量を記入してください。
 「資材名」欄は具体的に記入してください。

資材名 (具体的に記入)	使用数量	単位	調査対象畜 負担割合
	万 千 百 十		%

6 獣医師料及び医薬品費

1年間に調査対象畜の治療や衛生管理のために支払った料金等を記入してください。
 なお、内訳欄を記入する場合、「計」欄の記入は不要です。

区 分	金 額 (円)	調査対象畜 負担割合	獣医師料及び医薬品費の例示
計	万 千 百 十	%	
獣 医 師 料			獣医師に支払った診療代 (投薬、注射等の代金を含む。)
疾病共済掛金			家畜共済掛金のうち「疾病傷害共済掛金」(病傷部分)
医 薬 品 費			牛に直接使用した医薬品及び衛生薬品
その他医療費等			上記以外の医療・衛生費、倉庫の消毒剤、ミルクカーの洗剤費用等

・「金額」に調査対象畜の支払い分のみを記入する場合には「100」としてください。
 ・調査対象畜以外への支払い分を含めて記入する場合には、牛の飼養頭数割合を目安に調査対象畜の負担割合を記入してください。

8 草地費（草地開発事業の負担金、土地改良事業の負担金）

1年間に草地開発や土地改良のために支払った負担金及び償還金を合わせて記入してください。

草地開発事業の負担金（円）				土地改良事業の負担金（円）							
草地造成事業		草地整備事業		事業番号（ ）		事業番号（ ）		事業番号（ ）			
万	千	百	十	万	千	百	十	万	千	百	十

① ほ場整備事業、② 農地開発事業、③ かんがい排水事業、④ 農道（牧道）整備事業、⑤ その他の整備事業

（審査状況）

ア 農畜産物の生産を行う農業経営体（個別経営体及び組織法人経営体）における当該農畜産物の生産に使用した資材等の状況を明らかにするため、農産物に係る生産費調査票においては、従来の現金出納帳、作業日誌及び経営台帳への記入に替えて、①種子及び苗の使用数量及び購入金額、②肥料の使用数量及び購入金額、③農業薬剤の購入金額、④動力燃料の使用数量及び使用金額、⑤賃借料及び料金、⑥その他資材の使用数量・購入金額を、また、畜産物に係る生産費調査票においては、①飼料の購入・給与数量及び購入金額、②種付料金及び種付回数^{（注）}、③敷料の購入金額及び使用数量、④光熱動力燃料の購入金額及び使用数量、⑤獣医師料及び医薬品費、⑥賃借料及び料金（共同負担金等）、⑦草地費（草地開発及び土地改良の負担金）^{（注）}、⑧その他資材の使用数量・購入金額を、品目別に把握する計画である。

（注）育成牛・肥育牛生産費調査票では、②種付料金及び種付回数、また、肥育豚生産費調査票では、⑧草地開発及び土地改良等の料金に係る調査事項を設けていない。

イ これらについては、報告者の記入負担抑制にも留意しつつ、効率的な調査の実施や調査結果の正確性向上を図るとともに、施策ニーズ等の結果利用の変化に対応するものであり、おおむね適当と考えるが、報告者負担の抑制や調査結果の利活用促進等の観点からみて、必要かつ適切なものとなっているか等について確認する必要がある。

（論点）

- a これらの調査事項については、それぞれ具体的にどのような結果の利活用を想定して設定しているのか。また、それは、農業経営を取り巻く環境変化に適切に対応するものとなっているか。
- b これらの調査事項については、現在の日誌類への記入においても、記入を求めているものか。これまでは、区分した記入を求めていなかったものの、今回、新たに把握することとした事項はないか。また、これまでの記入に当たって、記入負担が重い、あるいは記入が困難なことなどから、把握が低調となっている調査事項はないか。
- c 当該農畜産物の生産において、他の農畜産物の生産との兼用で当該資材を使用している場合、その使用割合を把握するに当たって、作付面積や飼養頭数等を目安として把握する方法は適切か。
- d 資材名等を記入する欄について、不足した場合は、どのように対応するのか。
- e これらの調査事項について、調査結果の利活用や報告者負担の軽減、調査結果の正確性の確保等の観点から、改善の余地はないか。

(キ) 物件税及び公課諸負担等を把握する調査事項【全ての生産費調査票】

農畜産物を生産する農業経営体（個別経営体及び組織法人経営体）における当該農畜産物の生産に係る負担金の実態を明らかにするため、①物件税、②公課諸負担、③土地改良区費及び水利費等、④消費税、⑥借入金（買掛未払金を含む。）及び支払利子、⑦出荷に要した経費を把握する調査事項を再編する。

【米生産費調査（個別経営体用）の場合】

1 物件税

1年間に負担した食用米生産に係る物件税について記入してください。

区 分	金 額 (円)	食用米 負担割合 (%)
固 定 資 産 税 (建 物)	万 千 百 十	
固 定 資 産 税 (農 機 具)		
不 動 産 取 得 税 (土 地 以 外)		
自 動 車 取 得 税		
水 利 地 益 税		
都 市 計 画 税 (土 地 以 外)		
共 同 施 設 税		

注：固定資産税、不動産取得税及び都市計画税は土地に係るものを除いて記入してください。

・食用米のみの負担分を記入する場合は100(%)としてください。
・食用米以外の負担分を含めて記入する場合には、物件税の種類に応じて次を目安に記入してください。

固定資産税(建物)、不動産取得税、水利地益税及び都市計画税：使用面積割合

固定資産税(農機具)、自動車取得税、共同施設税：機械等の使用時間割合

2 公課諸負担

1年間に負担した食用米生産に係る公課諸負担について記入してください。

区 分	金 額 (円)	食用米 負担割合 (%)
集 落 協 議 会 費 (地 域 集 落 等 の 会 費)	万 千 百 十	
農 業 協 同 組 合 費		
農 事 実 行 組 合 費 (稲 作 部 会 等 の 会 費)		
農 業 共 済 組 合 賦 課 金		

・食用米のみの負担分を記入する場合は100(%)としてください。
・食用米以外の負担分を含めて記入する場合には、公課諸負担の種類に応じて次を目安に記入してください。

集落協議会費、農業協同組合費、農事実行組合費：農業収入全体のうち、食用米の収入が占める割合

農業共済組合賦課金：作付面積割合

【5】土地改良及び水利費

当年産の食用米生産のために負担した土地改良区費及び水利費等について記入してください。
なお、土地改良区費については、事業種類別の負担金額を記入してください。

1 土地改良区費

事業種類	食用米作付ほ場負担金額（円）										食用米負担割合（%）
	維持負担金					償還金					
ほ場整備事業											
農地開発事業											
かんがい排水事業											
農道整備事業											
その他（整地、表土扱いのない事業）											

2 水利費等

費用名	食用米作付ほ場負担金額（円）	食用米負担割合（%）
水利組合費		
揚水ポンプ組合費		

・食用米のみの負担分を記入する場合は、100（%）としてください。
・食用米以外の負担分を含めて記入する場合には、農業収入全体のうち、食用米の収入が占める割合を目安に記入してください。

・食用米のみの生産に関係する金額を記入する場合は、100（%）としてください。
・食用米以外の金額を含めて記入する場合には、その使途に応じた使用割合を目安に記入してください。

【6】借入金（買掛未払金を含む。）及び支払利子

当年産の食用米生産のための借入金及び支払利子について記入してください。
なお、内訳欄を記入する場合、「計」欄の記入は不要です。

資金名（用途）	調査開始時未償還残高（円）	支払利子額（円）	食用米負担割合（%）
短期借入金			
（計）			
長期借入金			
（計）			
買掛未払金			

注：土地の取得に関する借入金を除いて記入してください。

【子牛生産費調査の場合】

【5】消費税

消費税申告書により申告した調査対象畜分の消費税額を記入してください。

区分	金額（円）	調査対象畜負担割合
消費税（納付額）		%

【7】出荷に要した経費

1年間に子牛を出荷するために使用した資材等の金額を記入してください。

区 分	金額、時間				出荷に要した経費の例示
材 料（円）			万 千 百 十		出荷に使用したガソリン代、資材（手綱、鼻木等）の購入代金 等
料 金（円）					出荷作業を依頼した場合の料金、共同出荷における運搬費の負担金 等
労働時間（時間）				時間	子牛を販売する際の家畜市場等の販売先までの運搬に要した時間

（審査状況）

ア 農畜産物を生産する農業経営体（個別経営体及び組織法人経営体）が当該農畜産物の生産に関係して支払った租税公課等の実態を明らかにするため、農産物に係る生産費調査票においては、従来の現金出納帳、作業日誌及び経営台帳への記入に替えて、それぞれ以下の事項を、品目別に把握する計画である。

《農産物に係る生産費調査票の場合》

- i）物件税（固定資産税、不動産取得税、自動車取得税等）
- ii）公課諸負担（農業協同組合費、集落協議会費、農業共済組合賦課金等）
- iii）土地改良区費（ほ場整備事業、農地開発事業等に係る維持負担金及び償還金）
- iv）水利費（水利組合費、揚水ポンプ組合費等）
- v）借入金（短期借入金、長期借入金及び買掛未払金の未償還残高及び支払利子額）

《畜産物に係る生産費調査票の場合》

- i）物件税（固定資産税、不動産取得税、自動車取得税等）
- ii）公課諸負担（農業協同組合費、集落協議会費、家畜共済組合賦課金等）
- iii）酪農分の消費税額
- iv）借入金及び買掛未払金の未償還残高及び支払利子額
- v）出荷に要した資材や作業の料金及び労働時間^{（注）}

（注）牛乳生産費調査票では、出荷に要した資材や作業の料金及び労働時間について把握していない。

イ これらについては、報告者の記入負担抑制にも留意しつつ、効率的な調査の実施や調査結果の正確性向上を図るとともに、施策ニーズ等の結果利用の変化に対応するものであり、おおむね適当と考えるが、報告者負担の抑制や調査結果の利活用促進等の観点からみて、必要かつ適切なものとなっているか等について確認する必要がある。

（論点）

- a これらの調査事項については、それぞれ具体的にどのような結果の利活用を想定して設定しているのか。また、それは、農業経営を取り巻く環境変化に適切に対応するものとなっているか。
- b これらの調査事項については、現在の日誌類への記入においても、記入を求めているものか。これまでは、区分した記入を求めていなかったものの、今回、新たに把握

することとした事項はないか。また、これまでの記入に当たって、記入負担が重い、あるいは記入が困難なことなどから、把握が低調となっている調査事項はないか。

- c 当該農畜産物の生産において、他の農畜産物の生産と兼用している場合、その使用割合を把握するに当たって、使用面積割合等を目安として把握する方法は適切か。
- d これらの調査事項について、調査結果の利活用や報告者負担の軽減、調査結果の正確性の確保等の観点から、改善の余地はないか。

農畜産物を生産する農業経営体（個別経営体及び組織法人経営体）における当該農畜産物の生産のために使用した建物及び構築物の所有状況等を明らかにするため、①建物及び構築物の所有状況、②自動車の所有状況、③農業機械の所有状況、④農具の購入費等を把握する調査事項を再編する。

【7】建物及び構築物（土地改良施設を含む。）の所有状況

なお、1年間で新たに取得（新築）した場合は、該当建物等の「名称等」欄～「食用米負担割合」欄に記入してください。

修繕費には、次のような費用を記入してください。

- ・倉庫の屋根の修理、壁の塗り替え費用
- ・育苗ハウスのビニールの張り替え費用
- ・建物の電灯や電球の交換費用
- ・防虫網や支柱の修繕費用 など

- ・食用米のみに使用した場合は、100（%）としてください。
- ・食用米以外の作物へ共通して使用した場合には、使用面積割合を目安に記入してください。

耐用年数は、中古で取得した場合のみ記入してください。

[illegible]

種類コード		
建	築	物
1	住 宅	8 車 庫
2	事務所	11 ライスセンター
3	納屋・倉庫	12 育苗ハウス
4	作業場	13 その他の建築物
構 築 物		
14	船 架	18 作業道
15	コンクリートけい	19 用水路
16	暗きき排水施設	25 たい肥置
17	家 小	21 その他の構築物

構造コード				
建 物		物		
(1 住宅) ~ (13 その他の建築物)				
1	木 造	4	コンクリートブロック	7 金 属
2	合成樹脂造	5	鉄骨造	8 その他
3	鉄筋コンクリート	6	木造モルタル	
構 築		物		
(14 橋梁) ~ (31 その他の構築物)				
1	コンクリート、 れんが、石、 タ、タ	2	金 属	5 合成樹脂
		3	木 造	6 塩化ビニール
		4		その他

異動コード	
1	取り壊し
2	部分取り壊し
3	売却

【8】自動車（自動二輪・三輪を含む。）の所有状況

食料米生産のために使用した自動車等の所有状況について記入してください。

なお、1年間で新たに取得した場合は、該当自動車等の「名称等」欄～「食料米負担割合」欄に記入してください。

修繕費には、次のような費用を記入してください。

- ・自動車（バイクを含む。）の修繕や整備費用、部品代、車検料のうち整備費用、自動車付属品
- ・バッテリー・補充液
- ・洗車代、リサイクル料金 など

自動車保険料には、任意保険（車両分を含む。）の掛金を記入してください。

- ・食用米のみに使用した場合は、100（％）としてください。
- ・食用米以外の作物へ共通して使用した場合には、使用時間割合を目安に記入してください。

耐用年数は、中古で取得した場合のみ記入してください。

[illegible]

種類コード	
1	貨物自動車
2	その他の自動車

型式コード	
(1 貨物自動車)	
1	軽自動車
2	普通自動車(ワンボックス)
3	普通自動車(タンク式以外)
(2 その他の自動車)	
1	軽自動車
2	普通自動車
3	その他の自動車

異動コード	
1	売却
2	廃棄等

くわ類・かま類の農具、作業着・軍手等の農業被服については、13ページに記入してください。

修繕費には、次のような費用を記入してください。

- ・食用米のみに使用した場合は、100（％）としてください。
- ・食用米以外の作物へ共通して使用した場合には、使用時間割合を目安に記入してください。

耐用年数は、中古で取得した場合のみ記入してください。

[illegible]

種類コード		
1	電動機	19 バイナダー
2	発動機	20 自吸式コンバイン
3	歩行用トラクター	21 普通型コンバイン
4	乗用トラクター	29 脱穀機
12	電氣農用器械	31 乾燥機
13	田間機	32 わみすり機
15	湯水ポンプ	56 その他の農機具
17	動力噴霧機	57 パソコン
18	動力穀粉機	58 その他の生産資材機具

型式コード		
(4) 乗用トラクター	(20) 作業型(コンバイン)	(56) その他の農機具
1 2.0馬力未満	3 3条以下	1 1条の、耐用年数3年
2 2.2〜4.9馬力未満	4 4条以上	2 2条の、耐用年数4年
3 5.0馬力以上	(31) 穀類収穫機	3 3条の、耐用年数5年
(13) 田植機	1 静置式	4 4条の、耐用年数6年
2 2条植	2 播種式	5 5条の、耐用年数7年
3 3〜5条植		上記以外の農機具
4 6条植		6 その他

異動コード	
1	売却
2	廃棄等

当年度の食用米生産のために使用したくわ類やかま類、コピー用紙等の購入費等について、記入してください。
なお、内訳欄を記入する場合、「計」欄の記入は不要です。

- ・食用米のみに使用した場合は、100（％）としてください。
- ・食用米以外の作物へ共通して使用した場合には、使用面積割合を目安に記入してください。

名 称 等	金 額 (円)	費用実 負担割合 (%)	内 容 例 示
(計)			
農 具			
・			
農 業 被 服			【農具の購入費】 ・くわ類、かま類、シャベ ル類、ホース、じょう ろ、防除ネット、防鳥 ネット等の購入費 【農業被服の購入費】 ・作業着、軍手、ゴム長靴 等の農作業用の衣類の購 入費
等			
の			
類			
入			
費			

名 称 等	金 額 (円)	費用実 負担割合 (%)	内 容 例 示
(計)			
生			
産			
管			
理			
関			
係			
の			
費			
用			

ア 農畜産物を生産する農業経営体（個別経営体及び組織法人経営体）が当該農畜産物の生産のために使用した建物及び構築物の所有状況等を明らかにするため、全ての生産費調査票においては、従来の現金出納帳、作業日誌及び経営台帳への記入に替えて、①建物及び構築物の取得価額、修繕費、保険料等、②自動車の取得価額、修繕費、自動車保険料等、③農業機械の取得価額、修繕費、保険料等、④農具、農業被服等の購入費及び生産管理関係の費用（コピー用紙やプリンタトナー等の事務用品の購入費、研修参加料

等の技能習得に係る費用、電話代・通信費等）を、品目別に把握する計画である。

イ これらについては、報告者の記入負担抑制にも留意しつつ、効率的な調査の実施や調査結果の正確性向上を図るとともに、施策ニーズ等の結果利用の変化に対応するものであり、おおむね適当と考えるが、調査結果の更なる利活用や報告者負担の抑制や調査結果の利活用促進等の観点からみて、必要かつ適切なものとなっているか等について確認する必要がある。

(論点)

- a これらの調査事項については、それぞれ具体的にどのような利活用を想定して設定しているのか。また、それは、農業経営を取り巻く環境変化に適切に対応するものとなっているか。
- b これらの調査事項については、現在の日誌類への記入においても、記入を求めているものか。これまでは、区分した記入を求めていなかったものの、今回、新たに把握することとした事項はないか。また、これまでの記入に当たって、記入負担が重い、あるいは記入が困難なことなどから、把握が低調となっている調査事項はないか。
- c 当該農畜産物の生産において、他の農畜産物の生産と兼用している場合、その使用割合を把握するに当たって、使用面積割合等を目安として把握する方法は適切か。
- d これらの調査事項について、調査結果の利活用や報告者負担の軽減、調査結果の正確性の確保等の観点から、改善の余地はないか。

(ケ) 土地の面積及び地代を把握する調査事項【全ての生産費調査票】

農畜産物を生産する農業経営体（個別経営体及び組織法人経営体）における農畜産物の生産のために作付け・使用した土地の面積等の実態を明らかにするため、①所有地の面積、②借入地の面積及び地代・賃借料を把握する調査事項を再編する。

【麦類生産費調査（個別経営体用）の場合】

【11】 土地の面積及び地代

当年産の対象品目の麦の収穫が終わる前の1年間に、
・対象品目の麦のみ作付けた団地（ほ場）においては、100（%）としてください。
・対象品目の麦以外の作物も作付けた団地（ほ場）においては、対象品目の麦とそれ以外の作物との過去1年間における収入（作付地ごとではなく全体の収入）の割合を記入してください。

【例】A団地（ほ場）に麦と小麦を作付けており、過去1年間における作物別の収入が
米400万円、小麦400万円の場合、この作付地の収入割合は次のとおりです。
小麦400万円÷（米400万円＋小麦400万円）＝50（%）

1 所有地

(1) 作付地

当年産の対象品目の麦生産のために作付けた所有地について記入してください。
なお、団地（ほ場）ごとに田畑のどちらかに○を付けてください。

番号	団地（ほ場）名	土地台帳面積 （a）	作付実面積 （a）	対象品目 負担割合 （%）	地目 田 畑
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

注：途中で廃耕があった場合は、廃耕後も含めた当初の作付実面積を記入してください。

当年産の対象品目の麦の収穫が終わる前の1年間に、
・対象品目の麦のみを使用した場合は、100（%）としてください。
・対象品目の麦以外の作物にも使用した場合は、使用面積の割合を目安に記入してください。

(2) 建物敷地等

当年産の対象品目の麦生産のために使用した作付地以外の所有地について記入してください。

番号	使用地名	総面積 （a）	使用面積 （a）	対象品目 負担割合 （%）
1				
2				
3				

2 借入地

(1) 作付地

当年産の対象品目の麦生産のために作付けた借入地について記入してください。
なお、団地（ほ場）ごとに田畑のどちらかに○を付けてください。

番号	団地（ほ場）名	土地台帳面積 （a）	作付実面積 （a）	支払地代 （円）	対象品目 負担割合 （%）	地目 田 畑
1						
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						

注：途中で廃耕があった場合は、廃耕後も含めた当初の作付実面積を記入してください。

(2) 建物敷地等

当年産の対象品目の麦生産のために使用した作付地以外の借入地について記入してください。

番号	使用地名	総面積 （a）	使用面積 （a）	支払賃借料 （円）	対象品目 負担割合 （%）
1					
2					
3					

【牛乳生産費調査の場合】

【13】 地代（所有地及び借入地）

1年間に調査対象畜及び自給牧草の生産のために使用した土地（所有地、借入地）について記入してください。
なお、所有地については「実面積」を、借入地については「実面積」及び「支払地代」を記入してください。

1 所有地

ほ場名	ほ場の例示	実面積	負担割合（%）	
			調査対象畜	自給牧草
建物敷地	畜舎、納厩、飼料倉庫及び牛乳の冷却槽などの建物及び構築物の敷地			
運動場	パドック、けい牧（柵のないところに牛を放つ）に利用した土地			
牧草栽培	牧草地及び飼料作物を栽培した耕地			
放牧地	耕地以外で調査対象畜の放牧に利用した土地			
採草地	耕地以外で過去1年間に調査対象畜用の野草を採草した土地			

2 借入地

ほ場名	実面積	支払地代（円）	負担割合（%）	
			調査対象畜	自給牧草
建物敷地				
運動場				
牧草栽培				
放牧地				
採草地				

・「実面積」又は「支払地代」に調査対象畜への使用分のみを記入する場合には「調査対象畜」を「100」、自給牧草への使用分のみを記入する場合には「自給牧草」を「100」としてください。
・調査対象畜、自給牧草、その他へ共通して使用している場合には、それぞれの使用面積の割合を目安に「調査対象畜」又は「自給牧草」の負担割合を記入してください。

（審査状況）

ア 農畜産物を生産する農業経営体（個別経営体及び組織法人経営体）において当該農畜産物の生産のために使用した土地（所有地及び借入地）の面積等の実態を明らかにするため、農産物に係る生産費調査票においては、従来の現金出納帳、作業日誌及び経営台帳への記入に替えて、以下の事項について品目別に把握する計画である。

《農産物に係る生産費調査票（個別経営体用・組織法人経営体用）》

- ① 所有地（作付地）の団地（ほ場）ごとの土地台帳面積、作付実面積等^{（注）}
- ② 所有地（建物敷地等）の敷地ごとの総面積及び使用面積等
- ③ 借入地（作付地）の団地（ほ場）ごとの土地台帳面積、作付実面積及び支払地代等^{（注）}
- ④ 借入地（建物敷地等）の敷地ごとの総面積、使用面積及び支払賃借料等

《畜産物に係る生産費調査票》

- ① 所有地のほ場ごとの実面積等
- ② 借入地のほ場ごとの実面積及び支払地代等

（注）米生産費統計調査票（個別経営体用・組織法人経営体用）以外の農産物に係る生産費調査票では、地目（田畑の別）に係る調査項目を設けている。

イ これらについては、報告者の記入負担抑制にも留意しつつ、効率的な調査の実施や調査結果の正確性向上を図るとともに、施策ニーズ等の結果利用の変化に対応するものであり、おおむね適当と考えるが、調査結果の利活用や報告者負担の抑制や調査結果の利活用促進等の観点からみて、必要かつ適切なものとなっているか等について確認する必要がある。

（論点）

- a これらの調査事項については、それぞれ具体的にどのような利活用を想定して設定しているのか。また、それは、農業経営を取り巻く環境変化に適切に対応するものとなっているか
- b これらの調査事項について、現在の日誌類への記入においても、記入を求めているものか。これまでは、区分した記入を求めていなかったものの、今回、新たに把握することとした事項はないか。また、これまでの記入に当たって、記入負担が重い、あるいは記入が困難なことなどから、把握が低調となっている調査事項はないか。
- c 当該農畜産物の生産において、他の農畜産物の生産と兼用している場合、その使用割合を把握するに当たって、収入割合や使用面積割合を目安として把握する方法は適切か。
- d これらの調査事項について、調査結果の利活用や報告者負担の軽減、調査結果の正確性の確保等の観点から、改善の余地はないか。

農畜産物を生産する農業経営体（個別経営体・組織法人経営体）における農畜産物の生産に係る作業種類別の労働時間の実態を明らかにするため、農産物に係る生産費調査票においては、①個別経営体における家族及び雇用者の作業種類別労働時間、②組織法人経営体における構成員及び雇用者の作業種類別労働時間、③支払賃金等を、また、畜産物に係る生産費調査票においては、定型作業及び定型作業以外の作業種類別の作業時間、②支払賃金を把握する調査事項を再編する。

【12】作業別労働時間

作業時間は食事などの離れた実労働時間とし、最初の作業までの準備から農具の片付けまでの時間やほ場の往復時間も含めてください。
また、複数の作業を同時にに行った場合は、要した時間を作業数で等分し、それぞれの作業へ等分した時間を記入してください。

1 家族労働時間

人別・作業別に労働時間を記入してください。

作業別・労働時間記入欄(人)														雇用者の性別別・年齢別・労働時間記入欄(人)													
作 業 種 類	内 容 例 示	氏名	性別	(年 齢)	氏名	性別	(年 齢)	氏名	性別	(年 齢)	氏名	性別	(年 齢)	雇用労働 時間	雇用労働 時間	作 業 種 類	内 容 例 示										
		男 女	男 女	男 女	男 女	男 女	男 女	男 女	男 女	男 女	男 女	男 女															
種子播	蒔種、浸種、消毒、催芽															種子播	蒔種、浸種、消毒、催芽										
育苗	床作り、け桶、施設、かん水等の育苗作業															育苗	床作り、け桶、施設、かん水等の育苗作業										
耕起整地	荒起し、秋起し、耕うんから代かき、あぜ張り															耕起整地	荒起し、秋起し、耕うんから代かき、あぜ張り										
基肥	肥料の運搬、施肥、客土の搬入															基肥	肥料の運搬、施肥、客土の搬入										
直まき	点まき、覆土に係る労働															直まき	点まき、覆土に係る労働										
田植	苗取り・選搬、田植、浮草直し、補植、苗箱片付け															田植	苗取り・選搬、田植、浮草直し、補植、苗箱片付け										
追肥	肥料の運搬、施肥、除草剤混入肥料の散布															追肥	肥料の運搬、施肥、除草剤混入肥料の散布										
除草	本田の中耕除草、本田の除草剤散布、ひえぬき															除草	本田の中耕除草、本田の除草剤散布、ひえぬき										
管理	1ヶ畦の草刈り、1ヶ畦の除草剤散布、水管理															管理	1ヶ畦の草刈り、1ヶ畦の除草剤散布、水管理										
防除	農薬散布（除草剤除く。）による防除、鳥獣害対策															防除	農薬散布（除草剤除く。）による防除、鳥獣害対策										
刈取殺	稲刈り、稲の結束、稲架掛け、脱穀、稲わら処理															刈取殺	稲刈り、稲の結束、稲架掛け、脱穀、稲わら処理										
乾燥	乾燥、もみすり（注）、もみ及び玄米選搬															乾燥	乾燥、もみすり（注）、もみ及び玄米選搬										
生産管理	共同作業打合せ、技術習得、簿記記録（税務申告は含まない）															生産管理	共同作業打合せ、技術習得、簿記記録（税務申告は含まない）										
間接労働	建物、農機具等の修繕、購入資材の調達等															間接労働	建物、農機具等の修繕、購入資材の調達等										

注:「もみすり・調製作業」と「包装荷造り作業」が機械化一貫作業の場合、包装荷造りに要した作業時間を除いて記入してください。

3 食用米の田植、収穫期間

当年産の田植、収穫を開始した日と終了した日を記入してください。

区 分	開 始 日		終 了 日	
田 植	月	日	月	日
收 穫	月	日	月	日

4 支払資金

当年産の食用米生産のために雇用者に支払った労賃（現物支給も含む。）を記入してください。

区 分	支払資金（円）	食用米 負担割合 （％）
男	万 千 百 十	
女		

- ・食用米生産のための労働に支払った賃金を記入する場合は、100（％）としてください。
- ・食用米生産以外の労働への支払いも含めて記入する場合には、労働時間の割合を目安に記入してください。

【米生産費調査（組織法人経営体用）の場合】

【12】作業別労働時間

当年産の食用米生産における主な作業時間（受託による作業時間は含みません。）について記入してください。
作業時間は食事などを除いた実労働時間とし、最初の作業までの準備から農具の片付けまでの時間や畑への往復時間も含めてください。
また、複数の作業を同時に行った場合は、要した時間を作業数で等分し、それぞれの作業へ等分した時間を記入してください。

1 構成員（年齢階層別）・雇用別の労働時間

作業ごとの延べ作業時間とその作業に携わった延べ人数を記入してください。
なお、構成員の労働時間については、構成員の年齢階層（65歳未満、65～69歳、70～74歳、75歳以上）別に記入してください。

作 業 種 類	内 容 例 示	構 成 員 の 年 齢 階 層								雇 用		作 業 種 類
		65 歳 未 満		65 ～ 69 歳		70 ～ 74 歳		75 歳 以 上		合 計		
		延べ 作業時間	延べ 人 数	延べ 作業時間	延べ 人 数	延べ 作業時間	延べ 人 数	延べ 作業時間	延べ 人 数	延べ 作業時間	延べ 人 数	
種 子 予 措	選種、浸種、消毒、発芽											種 子 予 措
育 苗	床作り、は種、施肥、かん水等の育苗作業											育 苗
耕 起 整 地	荒起し、秋起し、耕うんから代かき、おぼ乗り											耕 起 整 地
基 肥	肥料の運搬、施肥、零土の撤去											基 肥
直 ま き	直まき、覆土に係る労働											直 ま き
田 植	苗取り・運搬、田植、育苗直し、補植、育苗片付け											田 植
追 肥	肥料の運搬、施肥、除草剤散布肥料の散布											追 肥
除 草	本田の中間除草、本田の除草剤散布、ひえぬき											除 草
管 理	いり野の草刈り、いり野の除草剤散布、水管理											管 理
防 除	農薬散布（除草剤除く。）による防除、品燃許可薬											防 除
刈 取 脱 穀	稲刈り、稲の結実、稲葉掛け、脱穀、稲わら処理											刈 取 脱 穀
乾 燥	乾燥、もみすり（注）、もみ及び米運搬											乾 燥
生 産 管 理	共同作業打合せ、技術習得、簿記記録（現帳申告は含まない。）											生 産 管 理
間 接 労 働	建物、農機具等の修繕、搬入資材の運送等											間 接 労 働

注：「もみすり・調製作業」と「包装搬送り作業」が機械化一貫作業の場合、包装搬送りに要した作業時間を総じて記入してください。

2 食用米の田植、収穫期間

当年産の田植、収穫を開始した日と終了した日を記入してください。

区 分	開 始 日	終 了 日
田 植	月 日 日	月 日 日
収 穫	月 日 日	月 日 日

3 支払賃金

当年産の食用米生産のために雇用者に支払った労賃（現物支給も含む。）を記入してください。

区 分	支 払 賃 金（円）	食用米 賃金割合 （%）
合 計		

・食用米生産のための労働に支払った賃金を記入する場合は、100（%）としてください。
・食用米生産以外の労働への支払いも含めて記入する場合には、労働時間の割合を目安に記入してください。

【牛乳生産費調査の場合】

【12】作業別労働時間

1 酪農に関する定型作業

農業従事者ごとに、上段に1日当たりの平均作業時間を記入し、下段に1年間の従事日数を記入してください。

「その他の飼育作業」とは、搾乳牛に関する以下の作業をいいます。
・種付け、分べん関係作業
・手入・運動・放牧作業
・きゅう肥の処理（切り返し、加工）作業
・衛生管理（殺虫剤の散布等）

氏 名	性別	年齢	家族・雇用	飼料の調理・給与・給水	敷料搬入・きゅう肥搬出	搾乳・牛乳処理・運搬	その他の飼育作業
	男(安)		家族(雇用)	時間: 分 日	時間: 分 日	時間: 分 日	時間: 分 日
	男(安)		家族(雇用)	時間: 分 日	時間: 分 日	時間: 分 日	時間: 分 日
	男(安)		家族(雇用)	時間: 分 日	時間: 分 日	時間: 分 日	時間: 分 日
	男(安)		家族(雇用)	時間: 分 日	時間: 分 日	時間: 分 日	時間: 分 日
	男(安)		家族(雇用)	時間: 分 日	時間: 分 日	時間: 分 日	時間: 分 日
	男(安)		家族(雇用)	時間: 分 日	時間: 分 日	時間: 分 日	時間: 分 日

2 酪農に関する1以外の作業

「作業名」欄の（ ）に具体的な作業名を記入した上で、農業従事者ごとに年間の作業時間を記入してください。

ここには、集会出席・技術習得・簿記記帳等の生産管理の時間、自給飼料（牧草等）の生産、建物・自動車・農機具の修繕の作業時間等を記入してください。

氏 名	性別	年齢	家族・雇用	作業名 ()	作業名 ()	作業名 ()	作業名 ()	作業名 ()
	男/女		家族/雇用	時間	時間	時間	時間	時間
	男/女		家族/雇用					
	男/女		家族/雇用					
	男/女		家族/雇用					

3 支払賃金

雇用者（ヘルパー、研修生等）に支払った賃金（現物支給も含む。）を男女別に記入してください。

区 分	金 額 (円)	負担割合 (%)	
		調査対象畜	自給牧草
男	万 千 百 十		
女			

- ・「支払賃金」に調査対象畜の飼養のための支払い分のみを記入する場合には「調査対象畜」を「100」、自給牧草の生産のための支払い分を記入する場合には、「自給牧草」を「100」としてください。
- ・調査対象畜、自給牧草、その他の雇用者への支払い分をまとめて記入する場合には、それぞれの労働時間の割合を目安に調査対象畜又は自給牧草の負担割合を記入してください。

(審査状況)

ア 農畜産物を生産する農業経営体（個別経営体及び組織法人経営体）における当該農畜産物の生産に要した作業種類別の労働時間の実態を明らかにするため、農産物に係る生産費調査票においては、従来の現金出納帳、作業日誌及び経営台帳への記入に替えて、以下の事項について品目別に把握する計画である。

《農産物に係る生産費調査票》

①個別経営体

- 家族の世帯員別・作業種類別の労働時間
- 雇用者の男女別・作業種類別の労働時間
- 食用米の田植・収穫期間（米生産費統計調査票のみ）
- 支払賃金

②組織法人経営体

- 構成員の年齢階層別・作業種類別の延べ作業時間及び延べ人数
- 雇用者の作業種類別の延べ作業時間及び延べ人数
- 食用米の田植・収穫期間（米生産費統計調査票のみ）
- 支払賃金

《畜産物に係る生産費調査票》

- ①各農業従事者の定型作業^(注1)の種類別の作業時間
- ②各農業従事者の定型作業以外^(注2)の種類別の作業時間
- ③支払賃金

(注1) 飼料の調理・給与・給水、敷料の搬入・きゅう肥の搬出、その他の飼育作業をいう。

(注2) 集会への出席・技術習得・簿記記帳等の生産管理、自給飼料（牧草等）の生産、建物・自動車・

農機具の修繕等の作業をいう。

イ これらについては、報告者の記入負担抑制にも留意しつつ、効率的な調査の実施や調査結果の正確性向上を図るとともに、施策ニーズ等の結果利用の変化に対応するものであり、おおむね適当と考えるが、調査結果の利活用や報告者負担の抑制や調査結果の利活用促進等の観点からみて、必要かつ適切なものとなっているか等について確認する必要がある。

(論点)

- a これらの調査事項については、それぞれ具体的にどのような利活用を想定して設定しているのか。また、それは、農業経営を取り巻く環境変化に適切に対応するものとなっているか。
- b これらの調査事項については、現在の日誌類への記入においても、記入を求めているものか。これまでは、区分した記入を求めていなかったものの、今回、新たに把握することとした事項はないか。また、これまでの記入に当たって、記入負担が重い、あるいは記入が困難なことなどから、把握が低調となっている調査事項はないか。
- c 個別経営体、組織法人経営体で雇用者の労働時間の把握内容が異なるのはなぜか。また、米生産費統計調査票のみ、田植・収穫期間を把握する理由・必要性は何か。
- d 本調査事項について、調査結果の利活用や報告者負担の軽減、正確性の確保等の観点から、改善の余地はないか。

(サ) 搾乳牛等の所有状況及び乳用牛の月齢別の飼育経費を把握する調査事項【牛乳生産費調査票】

牛乳を生産する農業経営体における搾乳牛の所有状況等の実態を明らかにするため、①農家団体コード、②搾乳牛の取引状況等、③乳用牛（後継牛）の月齢別の飼育経費等を把握する調査事項を新設・再編する。

【牛乳生産費調査票の場合】

【11】 搾乳牛等の所有状況

1 農家団体コード（牛トレサ関係）

牛トレーサビリティに登録している「農家団体コード」を記入してください。
複数の農家団体コードに登録している場合には、全てを記入してください。

農家団体コード1	農家団体コード2	農家団体コード3

1年間に転入・転出した牛について、取引金額(購入額、売却額)を記入してください。
また、未經産牛(育成牛)を育成牧場に預託している場合、育成牧場に預けた牛には「出」に、育成牧場から戻った牛には「戻」に○を記入してください。

[illegible]

搾乳牛（成牛）の飼育に要する経費や労力に対する後継牛（①生後11日未満の牛、②生後11日～6か月、③6～18か月、④18か月以上）の飼育に要する経費や労力の割合を記入してください。
なお、記入の仕方がわからない場合には、担当者にご相談ください。

搾乳牛（成牛）に給与する飼料費を「100」とした場合の、月齢別の後継牛に給与する飼料費の割合を記入してください。	搾乳牛	生後11日未満の牛 ①	生後11日～6か月 ②	6～18か月 ③	18か月以上 ④
	100				

搾乳牛1頭を1か月飼育するのに要する飼料費を「100」とした場合の、各月齢の後継牛1頭を1か月飼育するのに要する飼料費の割合を目安に記入してください。

【具体的な計算例】

【具体的な計算例】

$$\text{各月齢別の後継牛の割合} = \frac{\text{各月齢別の後継牛の飼育に要する飼料費}}{\text{搾乳牛（成牛）の飼育に要する飼料費}} \times 100$$

搾乳牛（成牛）の飼育に使用する建物面積を「100」とした場合の、月齢別の後継牛に使用する建物面積の割合を記入してください。	搾乳牛	生後11日未満の牛 ①	生後11日～6か月 ②	6～18か月 ③	18か月以上 ④
	100				

搾乳牛1頭を飼育するのに要する建物の面積を「100」とした場合の、各月齢の後継牛1頭を飼育するのに要する建物の面積の割合を目安に記入してください。

【具體的計算例】

【具体的な計算例】

$$\text{各月齢別の後継牛の割合} = \frac{\text{各月齢別の後継牛の飼育に要する建物面積}}{\text{搾乳牛（成牛）の飼育に要する建物面積}} \times 100$$

搾乳牛（成牛）の飼育に要する労働時間を「100」とした場合の、月齢別の後継牛の飼育に要する労働時間の割合を記入してください。	搾乳牛	生後11日未満の牛 ①	生後11日～6か月 ②	6～18か月 ③	18か月以上 ④
	100				

搾乳牛1頭を1か月飼育するのに要する労働時間を「100」とした場合の、各月齢の後継牛1頭を1か月飼育するのに要する労働時間の割合を目安に記入してください。

【具体的右計算例】

【具体的な計算例】

$$\text{各月齢別の後継牛の割合} = \frac{\text{各月齢別の後継牛の飼育に要する労働時間}}{\text{搾乳牛（成牛）の飼育に要する労働時間}} \times 100$$

ア 牛乳を生産する農業経営体における搾乳牛の所有状況等の実態を明らかにするため、

牛乳生産費調査票においては、従来の現金出納帳、作業日誌及び経営台帳への記入に替えて、①牛トレーサビリティに登録している農家団体コード、②搾乳牛の個体識別番号、購入・売却額、育成牧場への預託状況等、③搾乳牛（成牛）の飼育に要した飼料費や建物の使用面積、作業時間に対し、乳用牛（後継牛）の月齢別にその飼養に要した飼料費や建物の使用面積、作業時間の割合を把握する計画である。

イ これらについては、報告者の記入負担抑制にも留意しつつ、効率的な調査の実施や調査結果の正確性向上を図るとともに、施策ニーズ等の結果利用の変化に対応するものであり、おおむね適当と考えるが、調査結果の利活用や報告者負担の報告者負担の抑制や調査結果の利活用促進等の観点からみて、必要かつ適切なものとなっているか等について確認する必要がある。

（論点）

- a これらの調査事項については、それぞれ具体的にどのような利活用を想定して設定しているのか。また、それは、農業経営を取り巻く環境変化に適切に対応するものとなっているか。
- b これらの調査事項については、現在の日誌類への記入においても、記入を求めているものか。これまでは、区分した記入を求めていなかったものの、今回、新たに把握することとした事項はないか。また、これまでの記入に当たって、記入負担が重い、あるいは記入が困難なことなどから、把握が低調となっている調査事項はないか。
- c 本調査事項について、調査結果の利活用や報告者負担の軽減、正確性の確保等の観点から、改善の余地はないか。